

びわ湖シルバー人オセンター

令和7年(2025年)
新年号 No.137

迎春

もくじ

- 新年のごあいさつ 2
- 年男・年女/理事会だより 3
- 新理事長 池浦豊さんに聞く/シニアカレッジ 4
受講生訪問/オータムフェア シニア交流
- 会員日帰り研修バスツアー/会員一泊研修バスツアー 5
- 「能」の鑑賞会/理事長「居酒屋礼二」にTV出演/ 6
接遇研修(言いかえ/護身術としての接遇)
- 安全・適正就業 事故報告/交通安全講習/ 7
食育システムSAT/健康講座
- ひろば・会員数/俳句・ペイント画・絵手紙/ 8
こども食堂だより/会員更新のお知らせ/編集後記

神々しく輝く初日の出に 穏やかな年を祈る

湖面に映る鈴鹿山脈からの日の出
(びわ湖大津館から撮影)

写真 宮野 正氏(事務局) 提供

silver



理事長
池浦 豊

あけましておめでとうございます。会員の皆様方には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。平素は当センターの事業運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。



茨木市長
福岡 洋一

皆様方には、清々しい新年を迎えられたことと心からお喜び申し上げます。

会員皆様の豊富な知識や経験を活かし、地域社会に貢献するため、昨年もさまざまなシルバー事業を展開されました。特にシニアの健康づくりにと初参加された、「ノルディックウォーキング教室」では、多くの方が参加され、大好評を得られたと伺っております。改めまして、皆様方のご努力に敬意を表する次第であります。

昨年は今までにない頻度で、会員一般市民を含めた「研修会」「講習会」「トークショー」等を開催し、非常に好結果に終わっており、これも会員の皆様と事務局職員の努力のお陰と感謝しております。

さて、今年度は第四次中期計画二年目となり、より一層の会員の増加が期待できる反面、仕事量の確保に注力せねばなりません。日頃より申し上げておりますように新規のお仕事の確保



新年のごあいさつ

本市におきましても、シニア世代の方々が生涯にわたって活躍できる社会を実現するため、介護予防事業などの施策を推進してまいります。

また、豊かさ・幸せを実感できるまちづくりに向け、安威川ダム周辺整備として昨年オープンした「ダムパークいばきた」では、今年度末に、420mの日本最長の歩行者専用吊り橋やバンジージャンプの開業を予定しています。

本年も、変わらぬお力添えを賜りますようお願いいたします。とともに、茨木市シルバー人材センターのさらなるご発展を祈念申し上げます。

以上に、既存のお客のお仕事を支障なくこなすことが大事になってきます。就業ルールを守り安全就業に徹することで会員の皆さんの信頼とシルバーの信用が構築され、安定したお仕事を会員の皆様に提供することができるようになります。

本年も全会員の方がミスのない、事故のないお仕事を続けられることを祈念し年頭のごあいさつといたします。



茨木市議会議員
長谷川 浩

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

貴センターにおかれましては、高齢者の就業機会の提供にご尽力を賜り、高齢者の健康の維持と生きがいの充実に多大なるご貢献をいただいておりますことに心から敬意を表する次第であります。

少子高齢化が加速し、労働生産人口の減少による人手不足の深刻さが増している中、会員の

あけましておめでとうございます

- 理事長 池浦 豊
- 副理事長 中 正樹
- 常務理事 宮野 正
- 理事
- 綾目 慶子・後藤 政市
- 田中美弥子・寺田 恵子
- 富田 清香・西川久美子
- 西村 宏史・西村 福博
- 八田 孝子・樋口 直樹
- 前川 明紀・翠 壽久
- 森岡恵美子・藪中 政憲
- 山口美恵子・横関 俊隆
- 監事
- 島川 讓・本川 憲司

皆様が長年培ってこられた豊富な知識と経験を活かしてご活躍されることは、地域社会の維持・発展に不可欠であり、皆様方の活動に、今後さらなる期待が寄せられるところであります。

昨年は、新たにダムパークいばきた「風の丘ゾーン」等における維持管理を担っていただくこととなりました。また、長く続けておられることも食堂の運営など、多方面から地域の活性化にご協力をいただいておりますことに感謝を申し上げます。

結びになります。貴センターのますますのご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたします。年頭のごあいさつといたします。



私たちは 90 年です



子どもたちの「おっちゃん」を楽しみながら

定年退職後2年が経ち、そろそろと考えていた時、シルバー人材センターの説明会があり入会を決めました。すぐに仕事の紹介を受け、小学校の受付員をしています。

先日、眼の治療で眼帯をしていたところ、子どもたちから「おっちゃん、どうしたん」と心配してもらい人気者の一日となりました。

子どもたちの安全を守り、コミュニケーションを図るこの仕事にやりがいを感じています。

心身ともに健康を保ち元気に過ごしたいと考えています。



松村裕史

趣味・特技 山登り
好きな食物 何でもいけます
健康のために 不調があれば医者に行く

人との繋がりを大切に

シルバー人材センターの会員になって4年目になります。

今は小学校の受付業務に就いています。受付という仕事は未経験でしたが、不安もありましたが、先輩や同僚の指導もあり、仕事を覚えていく中で、子どもたちの声や笑顔に元気をもらい、嬉しい気持ちになりました。人材センター主催のさまざまな勉強会等にも参加して、大変役立っています。

今年も健康管理に注意して、仕事で貢献できるように、頑張りたいと思います。



國見京子

趣味・特技 手芸
好きな食物 イタリアン
健康のために 簡単に健康な料理作り・ストレッチ体操

入会して良かった

昨年4月にシルバーセンターに入会しました。その当時、右腕に大ケガをしていたので、皆様にご迷惑をかけるかと不安でしたが、職員の方々の心ある対応や説明で、不安も解消されました。今は不期就労ですが、会員の皆様とのふれ合いもあり、入会して良かったと実感しております。

ケガの前は釣り、麻雀、プラモデル製作、ゴルフ等、多趣味でしたが、最近では、ゴルフ、年に4、5回、飲み会に2カ月に1回程度、愛犬とのドライブ等を楽しんでいきます。

会員になり就労することで、少し活力がアップしたように思います。

今後も体調調整しますが、継続するつもりです。



浜本義幸

趣味・特技 ゴルフ、食、歩き、犬とのドライブ
好きな食物 寿司・麺類
健康のために 散歩・食事制限

笑顔で一年を過ごせますように

当センターの会員として、幼稚園の清掃の仕事をするようになって9年目を迎えました。

主人も当センターで充実した日々を過ごしていました。おとし体調をくずし一年余りの闘病生活でしたが、精いっぱい頑張ってきたように思います。

囲りの方々の優しい言葉や、仕事先の皆さんの温かさに励まされ、もう一度前に進んでいこうと歩み始めました。

日々、元気で過ごせることに感謝です。



岡田浩子

趣味・特技 手芸・園芸
好きな食物 甘いもの
健康のために ウォーキング

理事会だより

令和6年度第4回理事会が9月27日にリモートで開催されました。

▼議案

- 事務局体制の変更
- 受託事業の指針（下半期）
- 啓発看板の設置
- 職員就業規程及び契約職員等就業規程の一部改正

▼報告事項ほか

- 諸般の報告
- 正会員の入会
- 啓発・行事等
- 最低賃金対応等
- 役員研修会の件

「シルバーの仕事は丁寧でうれしかったよ」と知人。この時の言葉を次の人に受け取ってもらえるようにがんばるからね。

(寺田恵子)



新理事長
こんなひと!

池浦豊さんに聞きました
いくつになっても次へチャレンジ!



安全就業の徹底と趣味の旅行を語る

——シルバー人材センター入会の
きっかけは?

会社を定年退職した62歳の時、
たまたま見かけたセンターの軽四
トラックの広告を見て興味を持っ
たのが入会のきっかけです。

——センターでの活動の経歴を
教えてください。キャリアなど

公民館管理、地域班の班長、倉
庫での梱包作業を経て理事を8年、
兼任ですが就業開拓委員を7年、
副理事長を6年、大学の保安員を
12年やりました。

——理事長就任の心境は?

会員の立場としてシルバー運営
をみる難しさはありますが、セン
ター行事にできるだけ多く参加す
ることで、会員と同じ立場に立っ
てシルバーを盛り立てていければ
と思っています。

——この一年間をふりかえって
みて。

センター行事を通じて会員の皆
さんと接する機会も増え、センタ
ー職員と普及啓発活動の重要性を
さらに感じるようになりました。

——趣味、特技を教えてください。
エピソードなどありましたら。

リタイヤ後、自宅の改修のため
に専門学校に通って取得した室内
リフォームの技能士補。厚労省所
管の国家資格なんですよ。趣味と
しては鉄道模型作り、鉛筆画で手
を動かすものという共通項があり
ます。旅行も趣味ですね。

国内・海外ともずいぶん行きま
した。北は利尻・礼文島から南は
屋久島まで、海外はカナダのモレ
ーンレイクやナイアガラの滝、ヨ
ーロッパのモンブランやニュール
ベルクのクリスマスマーケット、
南米のマチュピチュ、ナスカの



マチュピチュの遺跡をバックに

地上絵、イグアスの滝など。マチ
ュピチュはロサンゼルス経由でペ
ルーの首都リマに入り、そこから
国内線でクスコまで27時間、次に
マチュピチュまで電車・バスで4
時間半と合計32時間かかる。まし
てクスコの空港は富士山の頂上な
み。空港内でフライトを待つ間に
貧血に。すぐに戻りましたが、こ
んな場所に来るのは若いうちに
と痛感しました。

——料理も得意とのことですが、
きっかけは単身赴任です。和洋
中、何でもやります。和では豚の
生姜焼き、豚汁、けんちん汁、き
のこご飯、肉豆腐、洋だとハンバ
ーグ、ポテトサラダ、クリームコ
ロッケ、中華は青椒肉糸、春巻き、
回鍋肉、麻婆豆腐などなど。うま
いですよ(笑)

——生活信条は?

「日々感謝して支えあう」です。

——令和7年の最優先課題は?

就業マナーを守り、安全就業に
徹する、これに尽きます。

——今年一年、どんな年?

一人でも多くの会員の方がセン
ター運営に興味を持って参加して
いただけるような会員向け行事を
増やしていきたいです。私的には
以前のように国内・海外問わず旅
行を楽しみたいです。

(聞き手 岩井洋子・川野止照)

シニアカレッジ受講生が訪問

地域で活躍する高齢者を育成す
るシニアカレッジが運用している
「いこいこ未来塾・地域活動体験
コース」の受講生一行が授業の一
環として当センターに学びにこら
れました。

シルバーの活動や事業の目的な
ど講義に対して黙々とメモを取る
姿、質疑応答のコーナーでは「な
ぜ?」を連発する質問攻め。本当
に熱心な姿勢には圧倒されるばか
り。熱い思いをいただいた未来の
卵(シニアだけど)、卒業したら
ぜひ、センターの会員に登録して
もらいたいものだと思います。

(事務局)

オータムフェア開催される

晴天に恵まれ、多くの来場者を
迎えみんな笑顔で「来年も、よろ
しく!」って口々に声をかけても
らった!大盛況に終わった『オー
タムフェア』は10月20日、茨木市
内の高齢者・福祉団体である当セ
ンターを含む4団体(シニアカレ
ッジ・老人クラブ・社会福祉協議
会)で啓発として開催したお祭り
です。移動動物園・焼きそば・ニ
ュースポーツ・綿菓子などたくさ
んのブースが並びとても素敵な催
事でした。動物園でうさぎにかじ
られたと泣く子もいたけど、なん
やかんやで無事終了! そしてま
た来年!

(事務局)



農園での収穫体験風景

養父市シルバーで特産品お土産に
 昨年引き続き今年度も会員の日帰り研修バスツアーが開催され、兵庫県北部、但馬地方の中心地、養父市を訪れました。養父市シルバー人材センターでは、屋外での野菜の収穫体験に汗を流し、その後移動中にセンター独自の取り組みを拝聴しました。

昼食は市内の名所「あゆ公園」で手作り弁当をいただくなど、日ごろない体験に45人の参加者は大いに満足した様子。野菜のお土産を手に片道2時間の帰途につきました。

日帰りバスツアー研修
**シルバー農園収穫体験と
 親睦研修!**

あゆ公園では、中で働いている会員の手作り弁当をいただき、とても美味しく、ご馳走様!

お土産に、大きなさつま芋、里芋、ねぎ、温石米等いただき、大満足。帰りの自転車に一杯で、幸せもいっぱいでした。(綾目慶子)

大満足!!
 でした!!

バスツアーに参加し、養父市のシルバー農園で、白菜と大根の収穫体験をさせていただきました。

当日は、行楽日和となり、青々とした葉の大根を抜いたり、しっかりと巻いた白菜を探して、畝を行き来して収穫を楽しみました。

あゆ公園に向かうバスの中で養父市シルバー人材センターの話や活動などの研修がありました。

活動のひとつに県外に学ぶ大学生に養父市シルバーが栽培している温石米や山椒のレトルト食品を贈っているそうです。



あゆ公園にてみんなで



新城市シルバー人材センター事務所前での記念撮影



クルーズ船上でカモメたちとしばし戯れる



安全適正就業について研修するシルバー一行

会員の研修と親睦、観光を兼ねた一泊会員研修バスツアーが年末も押し詰まった12月4、5日、遠く三河、駿可路を舞台に総勢35人が参加して開催されました。

初日8時半、センター事務所をスタート、名神・東名高速を静岡県境の愛知県新城市へ。同市シルバー人材センターでは、県内で発生した重大事故の事例を基に県内のシルバースタッフと合同で自主

《一泊研修バスツアー》
蒲郡温泉と駿河湾クルーズ楽しむ

自主制作DVDで安全就業を再考!

制作した安全就業に関わるDVDを鑑賞。安全就業の重要性があらためて身にしみる研修会となりました。

新城市は信州から東海道へと結ぶ交通要衝の地。長篠、設楽原の古跡があり、火縄銃保存量日本一という資料館見学など、しばし戦国時代をしのびました。

帰途につく最終の行程は「富士山清水みなとクルーズ」。富士の頂きは雲がかかっていて絶景とはいきませんでした。海上から日本一の山を望む機会に恵まれたツアーでした。

(松田和輝)

普及啓発イベント
「能」の鑑賞会を開催!!

10月12日、今回で4回目となる
シルバー人材センター説明会&
「能」の公演会が立命館いばらき



舞台を囲む形で能を楽しむ観客

フューチャ
ープラザで
開催されま
した。
これまで
の講演会と
は違い、舞
台を囲む形
で観客席を

配置し、より近くで迫力ある演技
を楽しんでいたけるよう工夫し
ました。お客様にも大変喜んで
いただき、シルバー人材センターに
とっても非常に良いPRの機会と
なりました。

当日実施したアンケートでは、
入会希望者が1人、将来的に入会
したいと希望される方が5人とい
う結果で、新規の会員獲得につな
がりました。



「居酒屋礼」
理事長J・COM TV出演

ジモトにカンパリーの合言葉で
始まるMC中川礼二さん、福本愛
奈さんの番組に茨木市で福祉・シ
ニア関係を事業運営する社協とで
出演させていただきました。



左から礼二さん、樋口さん、理事長、福本さん

出演ギリギリの楽屋では、綿密
な打ち合
わせが行
われ池浦
理事長、
樋口局長
とも心な
しか硬い
表情でし
たが、い

ざ、本番「ジモトにカンパリー」
の合言葉の基に、本番セットに着
座すると、あら、不思議、礼二さ
んの軽快な回しと愛奈さんの絶妙
な合いの手で、二人の表情も緩み
出るわ、出るわ、尽きるこのな
い「シルバー愛」と「社協愛」の
言葉がとめどなくあふれ、存分に
茨木市およびわがシルバーをPR
することができました。

今後メディアを活用した啓発
は続けていきたいと考えています。
最後に、収録終了後すべてを出し
尽くした、「あしたのジョー」の
「灰になっちゃったぜ」みたいな
二人の顔が素敵でした!

(事務局)

接遇研修会を開催!!

「会員の意識と行動で変わるセンターへの信頼性向上」
就業を円滑に進める・今必要とされるマナーを学ぶ!

■1回目は、「言葉の言い換え」で
人間関係が良くなる」ということ
を学びました。

◆なぜ伝わらない?
会話には2つのギャップがある。

- 解釈・捉え方のギャップ。
- 世代間のギャップ。

◆世代に関係なく、好印象な人の会
話の心得として5つがある。

- 受け止めてから話をする。
- 否定的な言葉や決めつける言葉
を使わない。
- 名前を呼ぶ。

(ネームコーリング効果)名前を
呼ばれることで自分のことを知
ってもらえている、認められて
いると感じる。

◆5つの言い換えのコツ
● リアクションをする。- 具体的に伝える。
- 褒める。
- 寝る。

● 投げる力を優しくする。



「言葉の言い換え」の話に聴き入る会員
講師：筒 美由紀氏

- 投げるボー
ルのトゲを
なくす。
- 受け取れる
位置に投げ
る。
- 相手を観察
する。
- 想いを乗せ
る。

■2回目は「護身術としての接遇」
マナーと接遇の違いについて学び
ました。

◆顧客満足のための代表的な要素は?
①提供する専門性の高さ。

- ② 関わるスタッフの接客態度・マナー。
- ◆マナーと接遇の違い。
● 接遇とは、もてなすこと。接待す
ること。

◆第一印象を良くすると得をする。
マナーにはルールがない。
なぜ大切なのか?
● 印象は短時間で決まる。

● 印象の修正には時間がかかる。
● 第一印象に引きずられやすい。
◆第一印象は何で決まるの?
言葉、声のトーンより「表情・し
ぐさ」で圧倒的に決まる。

◆EQ(感情能力)の誕生
● 笑顔はあなたの最高の武器。
● 心の知能指数といわれ、日常生活
で普通に使っている能力です。

● 自分や相手の気持ちを感じたり、
前向きな気持ちをつくったり、
気持ちを切り
換えたり、
カッとなつ
た時には冷
静さを取り
戻すために、
気持ちをう
まく管理、
利用し調整
しています。



「護身術としての接遇」の話に聴き入る会員
講師：土島 香織氏

(後藤政市)

安全・適正就業通信

事故・けがなどを未然に防ぐ心がけ

これからますます寒くなり、気温低下の影響等で道路が凍結し、転倒事故が発生しやすい時期になります。就業中における、屋外作業または外回りの確認時は周囲の状況に注意を払い「急がず、慌てず、走らない」を心掛けましょう。

就業途上では、特にバイクや自転車の運転について、路面状況をよく確認しながら走行し、右左折時や坂道等は一且降りて、押しして走行するなどして安全運転に努めてください。また、必要に応じて安全靴・滑り止めのある靴を着用する等の対策も必要です。

会員の皆さんが元気に笑顔で就業するために、一人ひとりが安全対策を万全に！



冬の健康管理

*風邪を予防するには？

- 外出後の手洗いやうがい徹底。
- しっぴり眠り、疲れやストレスをリセット。
- ビタミンA・Cをしっぴり摂取。
- 重ね着や半身浴などで体を温める。

交通安全講習会

10月16日・18日・21日に交通安全講習会が生涯学習センターきらめきホールで行われ、延べ3日間で307人の会員が受講しました。昨年に引き続き、茨木警察署の協力のもと、実例に基づく映像を駆使した講習会となりました。

また事故で家族を亡くした方の談話には身をつまされるものがありました。交通安全講習会は3年に一度は受講する必須講習会です。就業の提供条件となっていますので、必ず受講してください。(伊澤正喜)

発生状況

(令和6年7月1日～10月31日)

発生日	種類	事故発生状況	性別
7/9	傷害	資材を組み立て中に棚から資材が落下、頭部を打撲。	男
9/12	傷害	トイレ清掃中につまずいて転倒、頭部裂傷及び左ひざ打撲。	女

*インフルエンザかなと思ったら？

のどの痛み、全身の倦怠感を伴うインフルエンザを疑われる症状が出た場合はできるだけ早めに医療機関で受診を。☆大切なのは、肺炎の原因菌となる細菌やウイルスをからだに入り込ませないようにすること。

年に一度は健康診断を！ (伊澤正喜)

ノルディックウォーキング講習

10月16日に午前と午後の計2回ノルディックウォーキング教室が行われました。当日は雨予報でしたが、何とか持ちこたえ、インストラクターの指導を仰ぎながら楽しんでウォーキングすることができました。茨木神社までを往復するコースです。専用のポールを使って歩くことで、普段使わないうる筋肉にもアプローチでき、非常に良い運動になりました。18人が参加、シルバーへの入会を希望される方も数名おられ、啓発につながりました。(丸本宙)

第4回・健康講座を開催！ 食育システムSATで食事診断

食べた実物大のフードモデルを選び、トレーに乗せるだけで瞬時に食事の栄養バランスが5段階で判りやすく評価されます。

前日の夕食の献立を評価していただき今回は、ひとまず合格点。一日分で良い組み合わせになるようにアドバイスを受けました。

食事の好みも量も年々変化していく中で栄養バランスをしっかりと考えて、いつまでも元気に人生を楽しみたいと思えました。(後藤政市)



こころ×からだの健康づくり講座

11月18日、茨木市健康づくり課の精神保健福祉士喜多見氏による健康づくり講座が行われ、24人が参加しました。

内容は、〃相手も自分も心地よいコミュニケーション〃、〃ストレスや睡眠と仲良くする方法〃、〃こころも安らぐストレッチの紹介〃でした。

福祉団体として、茨木市南保健福祉センターとの共同で、これからも会員の健康のために企画していきたいと思えます。(事務局)

日常生活で日々進化する〃 運動教室開催

「運動機能の向上。維持を目的にしたトレーニング」のやり方を、専門コーチの实地指導で11月21日受けました。センター初の講座で、今後開催予定とのこと。全身をくまなくストレッチできるようなプログラム、内容でした。

实地トレーニングが進むうちに楽々とこなす、必死で頑張る人とさまざまでしたが終了時には、出始めた筋肉痛を感じながらも「参加して良かった！」という声の方々が聞こえてきました。

トレーニングの必要性を強く感じているように思いました。

まさしく、「イキイキ・モリモリ・キラキラとスーパーBodyで満喫ライフ！」であったらどんなに良いかなと参加者は思ったのでは？(後藤政市)

皆さんの仲間
(会員数)

12月4日現在

男	1,126人
女	667人
計	1,793人

絵手紙

会員
梅林 孝美

ペイント画

事務局 飯倉 一史

俳句

会員
岩井 洋子

人の波 心浮きまっ 梅見かな
乳飲子の 声に寒さの 和らぎて
氷上を 百花繚乱 咲き競う

ひろば

会員更新のお知らせ

2月より、令和7年度の会員更新が始まります。別紙「会員更新のお知らせ」を参考に手続きをお願いします。

昨年同様、更新手続きはコンビニでの支払いとなっております。更新されないと就業の提供ができない場合がありますので、忘れないようにご注意ください。また、退会される方は必ず事務局へご連絡ください。(事務局)

配分金の確定申告について

就業により、センターから会員に支払われる配分金は所得税法上、「雑所得」として扱われます。以下に該当する場合は、確定申告を行う必要がありますのでご注意ください。

- **配分金収入のみの場合**
年間配分金合計額が103万円を超える場合
 - **配分金収入の他に公的年金収入がある場合**
(年間配分金－控除額55万円) + (公的年金等－公的年金控除額) が48万円以上の場合
- ※その他不明な点は、茨木税務署におたずねください。



事務局だより

も食堂が食事だけでなく、子どもと大人が楽しめるイベントがあることで、心温かな場所にもなっている。忙しかったけれど貴重な体験ができて良かった」との感想をいただきました。

(井川恵子)



配膳をする2人の大学生ボランティア

に、トレーに広げたちりめんじゃこの中から、見たこともない海洋生物の稚魚、エビ、カニ、タコなどを探すゲームです。探し出したモンスターを袋に入れて持ち帰ったり、図鑑で名前を調べる子ども



ちりモンがいっぱい!!



ちりモンあるかな?

もいて、大盛り上がりでした。学生ボランティアから、「子ども食堂に、会員さんから「ちりめんモンスタ―」のプレゼントがあり、食後「ちりモン」探しのゲームをしました。当日学生ボランティアが来られ、子どもたちと一緒に

子ども食堂だより

ちりめんモンスタ―のゲームをしたよ!

11月25日の子ども食堂に、会員さんから「ちりめんモンスタ―」のプレゼントがあり、食後「ちりモン」探しのゲームをしました。当日学生ボランティアが来られ、子どもたちと一緒に

昨年(2024年)は能登の地震に始まり、一番暑い夏と言われ、雨の被害も多く、政治の世界はなんだか落ち着かず、世界的にも不安定な一年だったように思います。今年はどうなる年になるのでしょうか。

昨年の11月に受けた接遇研修の中で、HAPPYになる瞬間という項目があり、「私は」を聞くと楽しいと感じます。「私は」を見ると嬉しいと感じます。「私は」と言われると元気になります。など6項目に自分のことを書く時間がありました。

全部書いた後、HAPPYになる瞬間はいろんなところにあるかと再認識しました。今年も感謝の気持ち忘れず、日々を過ごしたいと思います。

(岩井洋子)

編集後記

謹賀新年

今年も委員一同頑張ります。

二〇二五年 元旦

委員長 川野 正照
副委員長 橋本由紀子
委員 後藤 政市
井川 恵子
岩井 洋子
広報委員会